

システム活用・成功への極意 第22回

勤怠管理システム構築では 打刻装置の選択も鍵を握る

適正な労働時間管理を効率的に行うには勤怠管理システムが不可欠。その導入に際しては、業務ソフトとともに出退勤時間の打刻装置選びもポイントとなる。OBCの「就業奉行i」なら、打刻装置も豊富なバリエーションを揃え、導入現場の環境に応じた最適な組み合わせが可能だ。

勤怠管理システムは、各種データの集計・分析を行う管理担当者にとっての分かりやすさや使いやすさ、あるいは多様な勤務形態に対応できる柔軟な機能などもさることながら、全社員が利用する勤怠打刻装置にも目を向け、現場からのデータをスムーズに収集できる仕組みを構築する必要がある。

オービックビジネスコンサルタント

ト(OBC)の「就業奉行i」では現場の事情に即して選べる多彩な打刻装置がオプション提供されている。具体的にポイントを紹介しよう。

■専用・汎用の2系統から選択可能

勤怠打刻装置は、専用端末であるタイムレコーダと、社内ネットワークのサーバー・パソコンを利用するWebシステムの2系統に大別される。タイムレコーダは、紙カードで打刻する方式に加えて、社員証や入室などに用いるID/ICカードでの打刻が可能なものもある。紙カードは打刻データが手元で確認でき、遅刻時の報告・記録なども手早く行える。人員の増減や入れ替わりの多い職場では、記録紙を手軽に用意できることも運用面で大きなメリットになる。

OBCが提供するタイムレコーダの最上位機種「OTX-310ASシリーズ」は、勤怠の打刻だけでなく、本体画面で業務シフトの選択や有休・欠勤・残業などの申請、さらに企業が、弁当など食事を一括発注する場合に便利な、社員からの食事予約申請も行える。工場などでは食事予約機能への要望がとても高いと

<打刻装置のバリエーション例>

データを連携できるタイムカード(左)と指静脈認証(右)



OBCのOTX-310 ASシリーズは、画面上で残業や食事の申請も可能



OGX-100AAシリーズは、非接触ICカード専用のタイプ



指静脈認証「静紋」は、なりすましを防ぐ指の汚れにも強い
(開発元:日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社)

いう。

一方のWebシステムは、既存のサーバーやパソコンを活用できるのが特徴。OBCでは「勤怠打刻Webオプション」と、直行直帰や残業・有休などの申請・承認機能も付加した上位モデルの「勤怠管理Webオプション」を用意している。いずれも、パソコン操作による打刻に加えて、広く普及している指紋認証や先進技術の指静脈認証といった生体認証機器、ID/ICカードリーダーなど複数の入力方法を選べる。生体認証は個人ごとに事前登録をするこ

とで、消耗品である紙カードや破損・紛失の心配があるID/ICカードに比べて追加コストがかからないことが魅力の1つだ。

■設置箇所数もタイプ選択の基準に

導入コストについては、タイムレコーダは端末1台ごと、Webシステムはパソコンの接続台数あるいは利用人数に応じたライセンスなので、単純比較は難しい。ただ、設置箇所が少ない場合はタイムレコーダ、多量ならWebシステムのほうがコストメリットが出やすい。

もちろん、タイムレコーダとWebシステムを併用することも可能なので、設置場所の環境や勤務形態に合わせて選定できる。

「業務が多様化している、ベストな形を考えるとが大変」という企業は、OBCの販売パートナーに相談してほしい。各業務の要件を細かくチェックし、満足行く勤怠管理システムのトータル提案をしてくれる。

お問い合わせ先

株式会社オービックビジネスコンサルタント

東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー
URL: <http://www.obc.co.jp/>